



## 子どもの夢とキャリア教育

校長 芝原 には

6月4日に全校でプール開きを行い、今年度も水泳の学習が始まりました。例年は、6月中は、雨の影響で気温や水温が低く、水泳学習ができないことを心配するのですが、今年は、早い段階から水温が30度を超える日があったりして、暑さの心配をしています。熱中症対策を十分に行いながら、充実した水泳学習ができることを願っています。7月1日の2・3校時(9:50~)校内水泳参観を予定します。地域の方もぜひ見に来てください。



さて、昨年度もこの号で「南界小ドリームロード」の紹介をしました。今年も、完成しました。今年は、左の写真のように、大空に架かる虹に向かって南界小の子供たちの希望の風船が束になって飛んでいくイメージで作成しました。書かれている将来の夢は「ケーキ屋さん」や「お花屋さん」から「オオサンショウウオにかかわる仕事」や「恐竜のように強い人」など、19人の子ども達、一人一人の個性が発揮されています。どこにあるかご存じですか？こちらもぜひ、見に来てくださいね。



中種子町では、毎年度「中種子町教育行政の基本目標」を策定しています。「生きる力・生き抜く力の育成」を目標とする学校教育では、その1番目として「将来を見据えて、自立し、たくましく生き抜く力を育むキャリア教育を推進します。」と掲げています。では「キャリア教育」とは、どういったものなのでしょう。文部科学省が定める学習指導要領総則では

児童が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としてつつ各教科等の特性に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

と記されています。要とされている特別活動の学級活動では、「一人一人のキャリア形成と自己実現」として「現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」「社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」「主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」と身に付けさせたい力が示されています。とても難しいことが書いてあるようですが、つまりは、大谷翔平選手が言う

「人生が夢を作るのではない。夢が人生を作る。」ということだと思います。将来の夢があれば、目標をもって生きる意欲がわくし、それは、すなわち、社会人としてどのように社会貢献するかということであり、そこがしっかりしていれば、自分から学ぼうとするはずだということでしょう。今、教室で学習していることは、必ず、自分の将来につながっているのです。また、重要な見方として、「今現在の夢を実現することが必須」とはどこにも書かれていないということです。経験や環境で、人の考えは変わっていくものです。今思い描いている将来の夢が変わってきたとしても問題ありません。見通しをもって、自分の力で学びを作り上げていく力がついていけば、何にだってなれます。私たち大人は、いつでも寄り添い、励ます伴走者でありたいものです。

